



《White Lotus》2021年



《既視感》純銀箔箔押 梅染鉄線染 2020年



《草木譚》和紙の茶室（組む東京）2017年

令和4年度 飯山市美術館企画展

紙宮（かみぐう） | 和紙作家 森田千晶展

2022年 9月3日 [土] — 11月20日 [日]

紙を通じて森羅万象とつながる。

紙宮の結界の中は、胎内のようにもあり、宇宙のようにもある。
ミクロとマクロの焦点を自在に行き来し、
無限の循環の中に身を委ねる。
紙が天地のエネルギーを流す脈のように存在し、
私たちの内側の“浄化と祈りの場”に導く。

森田がここに現出させる紙の世界は、人智や作為を超えて、
紙そのものの素の本質を映し出す、稀有なものになるだろう。

森田は、自然とともにいて、楮を育て、刈り取り、蒸して、繊維を取り出し、
一つ一つ型を描き、浄らかな水を通して、紙を作り出す。
気の遠くなる工程全てを手仕事で、来る年も来る年も、黙々と。
現代にこの作業を行う意味を問えば、
決して用途のためだけでないのは明らかだ。
「紙宮」という言葉の中に、その一つの答えがあると直感した。

日本では、白く浄らかな紙が
神聖な世界と現世の境界を示し、穢れを浄めるものとして使われてきた。
この地、飯山でも古くから和紙の技術が伝えられ、守られている。

今、紙に宿る靈性を再発見し、
未来につなげる時間を共有したいと思います。

キュレーター 小沼訓子

●作家によるワークショップ

「透かし和紙をすく」

型を使って透かしの和紙をつくりましょう。

9月24日(土) ①10:30~12:00 ②14:00~15:30

会場：飯山和紙研究会工房（美術館から徒歩1分）

定員：各回6名（対象：小学生以上）

参加費：2,000円

【ご予約お問い合わせは美術館まで（定員となり次第締切）】



飯山市美術館



長野県飯山市大字飯山1436番地1 TEL/FAX: 0269-62-1501 <http://www.city.iiyama.nagano.jp/>

交通 | 北陸新幹線飯山駅下車徒歩約10分（新幹線で東京駅から飯山駅まで最速1時間40分／長野駅から12分）

森田千晶 Chiaki Morita

1974 埼玉県生まれ

1995 女子美術短期大学造形学科生活デザイン専攻卒業

2000 小川町和紙体験学習センターにて講座受講

2006 第2回飯山和紙のしごと大賞コンペティション《大賞》

2010 Holland Papier Biennale 2010 Museum Rijswijk (Netherlands)

2013 INTERNATIONAL EXHIBITION OF PAPER IDEAS POPIERUKAS (Lithuania)

2014 「BLACK」ギャラリーミズのそら

2017 9th International Paper Triennial Musée de Charmey (Switzerland)

「草木譚」組む東京

2019 「銀鏡」組む東京 ほか個展多数

キュレーション 小沼 訓子（株式会社 組む / 株式会社 中川ケミカル）

空間構成 松本直也（松本直也デザイン）

照明デザイン 山下 裕子（Y2 LIGHTING DESIGN Co., Ltd.）

映像・写真 近藤 義展（TOKIIRO）

空間音楽 鶴田 聖子

グラフィックデザイン 湯浅 哲也（colonbooks）

協力 株式会社 中川ケミカル